

平成22年度

## 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1473701256	事業の開始年月日	平成17年3月1日
		指定年月日	平成17年3月1日
法人名	医療法人 徳寿会		
事業所名	グループホーム プラチナ・ヴィラ青葉台		
所在地	( 227-0033 ) 神奈川県横浜市青葉区鴨志田町758番地1		
サービス種別 定員等	小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	通い定員	名
		宿泊定員	名
		定員計	18名
		ユニット数	2 ユニット
自己評価作成日	平成22年12月19日	評価結果 市町村受理日	平成23年5月2日

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

外出する場を多く設けて、外との繋がりを深めていく努力をしている。 個人を大切に、その人らしい生活を送れるよう支援している。
--

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社団法人 かながわ福祉サービス振興会		
所在地	横浜市中区本町2丁目10番地 横浜大栄ビル8階		
訪問調査日	平成23年1月19日	評価機関 評価決定日	平成23年4月21日

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<b>【事業所の概要】</b> このホームは、東急田園都市線青葉台駅からバスで10分の場所にある。斜面に立地していて、窓から竹林や近くの民家が見渡せ、明るく静かな環境にある。同法人の介護老人ホームに隣接していて、建物の内部にはスプリンクラー、火災通報装置、床暖房が備えられている。 <b>【理念に対する取り組み】</b> 事業所の理念を基に、目標として「地域との交流」と「職員のスキルアップ」を掲げている。「地域との交流」については、運営推進会議や区から情報を得て、地域のお祭りや地域包括支援センターの催し、毎日の散歩、買い物、行事で地域の人達と交流し、顔なじみの関係を作っている。「職員のスキルアップ」については、法人の年間計画を基にした研修のほか、市主催の認知ケアなどの外部研修に参加している。参加後は、事業所内で報告会を行い、全員に内容を周知している。 <b>【利用者の希望に沿ったケア】</b> 利用者の言葉をそのまま記録して、それを基にカンファレンスでケアの実施内容を見直している。普段は食事作りはしないが、おやつや行事食などは職員と利用者が一緒に作り、要介護度の低化を少しでも防ぐように努めている。 <b>【医療の充実】</b> 事業所の提携病院を主治医とし、2週間に1回の往診がある。また、同法人の訪問看護の看護師が24時間態勢で利用者の健康管理を行っている。
--

### 【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホーム プラチナ・ヴィラ青葉台
ユニット名	2階 ユニット

アウトカム項目	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)	1, ほぼ全ての利用者の
	2, 利用者の2/3くらいの
	3. 利用者の1/3くらいの
	4. ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	1, 毎日ある
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまにある
	4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ全ての家族と
	2, 家族の2/3くらいと
	3. 家族の1/3くらいと
	4. ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまに
	4. ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている
	2, 少しずつ増えている
	3. あまり増えていない
	4. 全くいない
66 職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が
	2, 職員の2/3くらいが
	3. 職員の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が
	2, 家族等の2/3くらいが
	3. 家族等の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
理念に基づく運営						
1	1	<p>理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p>	<p>理念にそった年間目標を毎年立てている。その目標に沿って職員間で話し合い年間行事などを作成している。</p>	<p>今年度の目標は「地域との交流を深める」と「職員のスキルアップ」を挙げている。地域行事への参加や散歩、買い物などの外出を多くし、地域の人達との顔なじみの関係作りに力を入れている。また、職員のレベル向上のため研修を充実させ、利用者にとって何をするのが望ましいかを考え、実践している。</p>		
2	2	<p>事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>公園や商店を利用したり、地域の催し物に参加するなどの活動を通して近隣の方々との交流を行っている。又、散歩などの挨拶により顔馴染みの環境を作っている。</p>	<p>地域のお祭りや地域プラザの催しに参加し、散歩、買い物の折に交流を深めている。お花や野菜を貰ったり、利用者に対して心遣いしてもらえる関係ができています。歌や踊りのボランティアも来所している。</p>	<p>町内会への加入が決まったので、町内会を通じてさらに地域との交流を深められることを期待したい。</p>	
3		<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている</p>	<p>地域の行事などの情報を活かし、参加し人々と接する事で理解を得るよう努めている。</p>			
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>家族や地域住民よりの意見を聞ける場となっている。ホームへ持ち帰り後、職員間で共有して今後活かすようにしている。</p>	<p>利用者、家族、町内会役員、民生委員、地域包括支援センター職員が出席して、運営推進会議を3カ月毎に開催し、事業所の活動や地域との交流状況を報告している。また、地域の催し物の情報を受けたり、意見交換を行っている。</p>		
5	4	<p>市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる</p>	<p>市健康福祉局からのメールで情報を得て、研修に参加している。市・区役所からは、地域の情報を得たり今後の活動の助言を得たりしている。</p>	<p>市健康福祉局や区主催の各種の研修に参加し、運営推進会議のあり、地域包括支援センターの担当者に事業所の様子を伝え、助言を得ている。グループホーム連絡会の研修に参加し、交換研修も行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>全職員が身体拘束を行わない事を理解しているが、事業所前の道路は交通量が多く危険な為、入居間もない方がいる場合のみユニットドアの施錠をしている。</p>	<p>虐待、拘束についての研修を行い職員に徹底し、拘束を行わないケアを実践している。</p> <p>玄関は施錠していない。ユニットの入り口は鍵をかけているが、いつでも開けられようになっている。</p>	
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>管理者は研修に参加し、学ぶ機会を持っている。職員は虐待防止マニュアルが休憩室にあり、いつでも閲覧できる。</p>		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>管理者及び職員は、研修に参加し知識を身につけている。また、必要に応じて支援している。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時は重要事項説明を行い、当ホームへの希望に対するの対応可能内容の確認を行っている。</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族来所時などに、家族の意見、要望を聞く機会があり、フロアー会のなかで検討している。また、意見箱を家族の目の付きやすいところに設置し意見を反映させる努力をしている。</p>	<p>面会や新年会、行事など家族の来所時に利用者の様子を伝え、意見を聞いている。意見は送りノートに記録し、職員間で話し合って対応している。また、管理者が家族と話をして家族の思いを聞きとっている。「日中、デイサービスのようにレクリエーションを増やして欲しい」との要望を受け、時間を決めて実行したところ、生活のリズムが良くなった例がある。</p>	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	定期的なフロアー会や全体ミーティングを行い、職員の意見・意向を聞く機会を設けている。	管理者は、会議や個人面談のほか、日ごろから職員の意見を聞いている。行事の内容や利用者のケアの方法、シーツ交換や洗濯の方法などを見直した事例がある。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年2回の成果レポート提出や勤務実績など半年間の振り返りを行い向上、努力したものを評価している。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内の研修、外部研修に参加できるように年間予定表を立てスキルアップを行えるように努めている。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	市の交換研修、青葉区・緑区のブロック会に参加し情報交換やサービスの質の向上に努めている。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	面接時などに、ホームへの希望とともに生活暦や生活環境を伺い、今後安心してホームで生活できるよう取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族が来訪された際、または電話にて随時、家族の悩みなどを伺い、ホーム入所に関しての家族の心配や不安を減らす努力をしている。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前に、本人や家族の困っている事、今後の希望を伺い必要な支援が受けられるように提携機関、協力機関と連絡を取っている。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日常の家事など、職員は本人と一緒にやる事を心がけ、本人から積極的な家事などを手伝いたいという環境になっている。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	現状がわかる様、面会に来られた際は、日常や体調など出来るだけ伝え家族と“今”を一緒に考える様、努めている。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	以前住まれていた場所や信じている宗教の行事への参加、友人の来訪や家族との外出の環境を作り支援している。	家族や知人の来訪を歓迎している。電話を取り次いだり、手紙や贈り物などを受け取っている。昔からの美容院や喫茶店に利用者の希望に応じて同行するなど、馴染みの関係の継続を支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	居室に一人である事が多く、孤立してしまいがちな方にも、声をかけレクレーションなどで皆さんとコミュニケーションをとりやすい様に支援している。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	他施設入所や入院後は、職員が面会に行き、家族や本人と会いお話を伺っている。また、契約後も電話での連絡を行っている。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人よりの意向などを記録として残している。意思表示が困難な人は、生活歴や態度から汲み取りケアプランに取り入れている。	入居時のアセスメントや日常生活の会話の中で、思いや意向を把握している。意向の表現が困難な方については、楽しめそうなことを声掛けして、それに対する表情や様子から汲み取るようにしている。家族からも利用者の意向などを聞いている。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人や家族から生活歴や生活習慣の情報を得、入居後もこれまでの生活を継続できるように努めている。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の体調管理や日常の様子を記録に残し現状の心身の把握に努めている。また、往診医師や訪問看護師による多方面からの助言も得て、毎日のケアに繋げている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>本人や家族から希望を伺い、医師、看護師の助言をもとに職員は3ヶ月ごとに介護計画を見直して作成している。急変時は、その都度検討している。</p>	<p>介護計画は居室担当を中心に、本人、家族の要望を聞き、利用者を幸せにするにはどうしたらよいかを話し合い、作成している。介護計画はケア記録の前部にファイルしている。実施したケアの内容と利用者の言葉をそのまま記録して、3か月に1回のカンファレンスでケア記録、申送りノートをもとに実施内容を確認し、介護計画を見直している。その後、家族の了解を得て実施している。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>毎日の記録をもとに職員間で話し合い介護計画を作成している。また、介護計画を毎日のケアに活かしていくことが出来るように介護記録の横に入れ職員間で共有している。</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>状況に応じて医師、看護師、薬剤師、他施設相談員、福祉用具店などの協力を得ている。</p>		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域の催物や祭り、料理教室に参加したり、ボランティアの受け入れにて、毎日楽しく送れるよう支援している。</p>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>提携病院よりの往診を受けているが、家族付き添いでの入居前までのかかりつけ医への受診も可能である。</p>	<p>利用者全員が2週間に1回、協力医療機関の往診を受けている。また法人の24時間医療対応可能な看護師が毎週来所し、健康管理を行っている。他の診療科を受診する場合は家族が対応している。歯科は、協力医療機関の受診または訪問歯科を希望により選択して利用してもらっている。</p>	



自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>訪問看護師へ、心身の状態を報告し情報の共有化を行い健康管理を行っている。</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院先へは、介護サマリーなどの情報を渡し本人が安心して治療できるよう支援し、家族や提携病院と退院後の受け入れに向けて話し合いを行っている。</p>		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>協力医療機関よりの医師、看護師や訪問看護、家族との話し合いを重ね今後の方針を共有する体制がある。</p>	<p>事業所の「重度化対応・終末期ケア対応」の指針に基づき同意書をもらい、看取りを行った例が1件ある。今後は、職員の負担を十分考慮したうえで対応する意向である。</p>	
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急時対応マニュアルがあり、それに沿って対応している。救命講習を受講し実践力を身につけている。</p>		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>防災管理マニュアルを整備し、年2回以上の避難訓練を行っている。また、併設している同法人施設よりの協力を得ることとなっている。</p>	<p>防災管理マニュアルに従い年2回以上、夜間を想定した避難訓練を利用者も参加して行っている。スプリンクラー、非常通報装置を完備している。緊急時には隣接の同法人施設の援助が得られる体制になっている。水、食料などは一部を用意しているほか、隣接の法人施設にも備蓄がある。</p>	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員はプライドを尊重した言葉かけを行い、個人記録には氏名の明記などしないよう職員全員が周知している。	個人情報の保護方針を掲示し、法人内研修や事業所内研修を実施して、日頃から個人情報の取り扱いについて意識付けをしている。日誌や個人記録に記入する際は、名前が他者に分からないようイニシャルで記載している。利用者の名前は本人の希望に応じた呼び方をしている。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	時間をかけての傾聴や毎日の生活から本人の意思や希望を汲み取る努力をしている。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	大まかな日課はあるが、本人のペースに合わせた暮らしを支援している。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	日常着など、家族の了解を得て本人と共に買い物に行き好みの物を購入したり、定期的に美容院に行っている。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	副食は併設施設から運ばれ、配膳や片付けなどを職員と協力し行っている。また、行事に合わせ献立を決め食事作りを行っている。	ご飯と汁物は事業所で作り、副食は隣接法人より冷凍品が届けられ、解凍して提供している。配膳や片づけを利用者と職員が一緒に行っている。職員は、話をしたり、介助しながら一緒に食べている。普段、利用者は食事作りをしないが、外出時にサンドイッチや行事の時に季節のご飯やおやつを作っている。お弁当を購入するなどして食事を楽しむこともある。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>管理栄養士が作成したバランスの良い献立を提供している。個々に応じた食事・水分量を準備し、摂取量を記録している。</p>		
42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後の口腔ケアや夜間の洗浄剤使用にて清潔に努めている。不十分なところは、職員が支援している。</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>排泄チェック表を活用し、個々の排泄パターンを把握している。日誌などへの記入と申し送りにて情報の共有化を行い日々の変化に対応している。</p>	<p>半数の利用者は自立している。個々の排泄状況を排泄チェック表に記録し、その人のパターンに合わせて声かけなどの支援をしている。不調の場合は、腹部のマッサージや体操を取り入れている。日誌の記録を職員間で共有し対応している。</p>	
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>排泄チェック表に排便状況を記入し、水分や内服薬の調整を行っている。腹部マッサージや体操、散歩にて排便状態の改善をしている。</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>無理強いせず、個々の希望やタイミングに合わせて入浴している。希望にて入浴剤を使用している。</p>	<p>利用者は週2回から3回、入浴している。時間帯は午前と午後、どちらでも入浴することができる。また、回数も本人の希望に合わせている。脱衣室は床暖房となっている。季節の菖蒲湯やゆず湯、沐浴剤を入れて気分を変えて入浴することもある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の睡眠や活動状況を把握し、そのときに応じた安眠や休息がとれるよう支援している。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋は職員がいつでも確認出来るようになっており、薬の管理・服薬の支援を行っている。特に変更などあったときは症状の変化を記録に残し体調観察を行っている。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々にあわせた役割活動や趣味の支援を行い、利用者の希望を取り入れた行事や外出などで気分転換等の支援をしている。		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	本人の希望を尊重し、日常的な散歩や買い物から、地域の行事、家族参加行事の企画など、外出を楽しむことが出来るよう支援している。	目標の実践のため外出を多くしており、利用者2人に職員1人を基本にしている。利用者の能力に合わせて事業所周辺の散歩や買い物を日常的に行っている。行事で生田緑地や町田公園、レストランなどに行くこともある。車椅子の人も一緒に出かけている。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	支払いの際、お金を渡し支払ってもらっている。外出での買い物や移動販売で好みの物を選び、本人が楽しさと充実感が持てるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族からの電話の取次ぎや家族への季節の手紙などの支援をしている。本人よりの希望があれば、家族了解のもと電話を繋いでいる。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	廊下に絵画を飾り、リビングには協力して作った壁飾りを展示し、テーブルに花を置くなどの季節を感じられる空間を演出している。	リビングからは外の竹林が眺められ、日当たりも良く明るい。壁には季節の絵や利用者の作品を飾り、テーブル、ソファなどでゆっくりとした生活ができる。空調が良く、加湿器、床暖房などもあり、利用者が気持ちよく過ごせる場所になっている。	
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間の中に個人の椅子を置いたり、利用者の相性などに配慮した空間作りを行うことで、個々の好みの場所を提供している。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人の使い慣れた家具を使用したり、本人や家族の写真を飾り、居心地の良い空間にしている。	ベッド、たんす、テーブル、椅子、鏡台、孫の写真、ぬいぐるみなど、使い慣れたものが持ち込まれている。仲の良い利用者と一緒に話ができるように、椅子を置いている人もおり、それぞれの利用者が自分の部屋として居心地よく過ごせるようにしている。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	個々の基本動作を把握し、補助具の使用などで自立した生活を支援していく。		

事業所名	グループホーム プラチナ・ヴィラ青葉台
ユニット名	1階 ユニット

アウトカム項目	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)	1, ほぼ全ての利用者の
	2, 利用者の2/3くらいの
	3. 利用者の1/3くらいの
	4. ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	1, 毎日ある
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまにある
	4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30,31)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ全ての家族と
	2, 家族の2/3くらいと
	3. 家族の1/3くらいと
	4. ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまに
	4. ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている
	2, 少しずつ増えている
	3. あまり増えていない
	4. 全くいない
66 職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が
	2, 職員の2/3くらいが
	3. 職員の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が
	2, 家族等の2/3くらいが
	3. 家族等の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念にそった年間目標を毎年立てている。その目標に沿って職員間で話し合い年間行事などを作成している。		
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	公園や商店を利用したり、地域の催し物に参加するなどの活動を通して近隣の方々との交流を行っている。又、散歩などの挨拶により顔馴染みの環境を作っている。		
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の行事などの情報を活かし、参加し人々と接する事で理解を得るよう努めている。		
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	家族や地域住民よりの意見を聞ける場となっている。ホームへ持ち帰り後、職員間で共有して今後活かすようにしている。		
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市健康福祉局からのメールで情報を得て、研修に参加している。市・区役所からは、地域の情報を得たり今後の活動の助言を得たりしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>全職員が身体拘束を行わない事を理解している。階段前のユニットドアは、トイレドアと区別する為、上に誰でも開ける事のできる簡易の施錠をつけている。</p>		
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>管理者は研修に参加し、学ぶ機会を持っている。職員は虐待防止マニュアルが休憩室にあり、いつでも閲覧できる。</p>		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>管理者及び職員は、研修に参加し知識を身につけている。また、必要に応じて支援している。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時は重要事項説明を行い、当ホームへの希望に対しての対応可能内容の確認を行っている。</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族来所時などに、家族の意見、要望を聞く機会があり、フロア会なので検討している。また、意見箱を家族の目の付きやすいところに設置し意見を反映させる努力をしている。</p>		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	定期的なフロアー会や全体ミーティングを行い、職員の意見・意向を聞く機会を設けている。		
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年2回の成果レポート提出や勤務実績など半年間の振り返りを行い向上、努力したものを評価している。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内の研修、外部研修に参加できるように年間予定表を立てスキルアップを行えるように努めている。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	市の交換研修、青葉区・緑区のブロック会に参加し情報交換やサービスの質の向上に努めている。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	面接時などに、ホームへの希望とともに生活暦や生活環境を伺い、今後安心してホームで生活できるよう取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>家族が来訪された際、または電話にて随時、家族の悩みなどを伺い、ホーム入所に関しての家族の心配や不安を減らす努力をしている。</p>		
17		<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>入居前に、本人や家族の困っている事、今後の希望を伺い必要な支援が受けられるように提携機関、協力機関と連絡を取っている。</p>		
18		<p>本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>職員は、個々の趣味や経験してきたことなどの知識を学び共に行動していけるような関係を築いている。</p>		
19		<p>本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>現状がわかる様、面会来られた際は、日常や体調など出来るだけ伝え家族と“今”を一緒に考える様、努めている。</p>		
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>入居前からの友人の来訪や電話の取次ぎ、馴染みの美容院や店などへの外出の支援をしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日中1回は、全員で行う歌やレクリエーション等で、利用者同士が会話できる機会を設けている。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	他施設入所や入院後は、職員が面会に行き、家族や本人と会いお話を伺っている。また、契約後も電話での連絡を行っている。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人よりの意向などを記録として残している。意思表示が困難な人は、生活暦や態度から汲み取りケアプランに取り入れている。		
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人や家族から生活暦や生活習慣の情報を得、入居後もこれまでの生活を継続できるように努めている。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の体調管理や日常の様子を記録に残し現状の心身の把握に努めている。また、往診医師や訪問看護師による多方面からの助言も得て、毎日のケアに繋げている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>本人や家族から希望を伺い、医師、看護師の助言をもとに職員は3ヶ月ごとに介護計画を見直して作成している。急変時は、その都度検討している。</p>		
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>毎日の記録をもとに職員間で話し合い介護計画を作成している。また、介護計画を毎日のケアに活かしていくことが出来るように介護記録の横に入れ職員間で共有している。</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>状況に応じて医師、看護師、薬剤師、他施設相談員、福祉用具店などの協力を得ている。</p>		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域の催物や祭り、料理教室に参加したり、ボランティアの受け入れにて、毎日を楽しく送れるよう支援している。</p>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を楽しみながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>提携病院よりの往診を受けているが、家族付き添いでの入居前までのかかりつけ医への受診も可能である。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	訪問看護師へ、心身の状態を報告し情報の共有化を行い健康管理を行っている。		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	入院先へは、介護サマリーなどの情報を渡し本人が安心して治療できるよう支援し、家族や提携病院と退院後の受け入れに向けて話し合いを行っている。		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	協力医療機関よりの医師、看護師や訪問看護、家族との話し合いを重ね今後の方針を共有する体制がある。		
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	緊急時対応マニュアルがあり、それに沿って対応している。救命講習を受講し実践力を身につけている。		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	防災管理マニュアルを整備し、年2回以上の避難訓練を行っている。また、併設している同法人施設よりの協力を得ることとなっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員はプライドを尊重した言葉かけを行い、個人記録には氏名の明記などしないよう職員全員が周知している。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	時間をかけての傾聴や毎日の生活から本人の意思や希望を汲み取る努力をしている。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	大まかな日課はあるが、本人のペースの合わせた暮らしを支援している。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	日常着など、家族の了解を得て本人と共に買い物に行き好みの物を購入したり、定期的に美容院に行っている。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	副食は併施設から運ばれ、配膳や片付けなどを職員と協力し行っている。また、行事に合わせて献立を決め食事作りを行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>管理栄養士が作成したバランスの良い献立を提供している。個々に応じた食事・水分量を準備し、摂取量を記録している。</p>		
42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後の口腔ケアや夜間の洗浄剤しようにて清潔に努めている。不十分なところは、職員が支援している。</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>排泄チェック表を活用し、個々の排泄パターンを把握している。日誌などへの記入と申し送りにて情報の共有化を行い日々の変化に対応している。</p>		
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>排泄チェック表に排便状況を記入し、水分や内服薬の調整を行っている。腹部マッサージや体操、散歩にて排便状態の改善をしている。</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>無理強いせず、個々の希望やタイミングに合わせて入浴している。希望にて入浴剤を使用している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>個々の睡眠や活動状況を把握し、そのときに応じた安眠や休息がとれるよう支援している。</p>		
47		<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>処方箋は職員がいつでも確認出来るようになっており、薬の管理・服薬の支援を行っている。特に変更などあったときは症状の変化を記録に残し体調観察を行っている。</p>		
48		<p>役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>個々に合わせた役割活動や趣味の支援を行い、利用者の希望を取り入れた行事や外出などで気分転換等の支援をしている。</p>		
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>本人の希望を尊重し、日常的な散歩や買い物から、地域の行事、家族参加行事の企画など、外出を楽しむことが出来るよう支援している。</p>		
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>支払いの際、お金を渡し支払ってもらっている。外出での買い物や移動販売で好みの物を選び、本人が楽しさと充実感が持てるよう支援している。</p>		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>家族や友人からの電話の取次ぎや手紙のやり取りなどの支援をしている。本人よりの希望があれば、家族了解のもと電話を繋いでいる。</p>		
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>廊下に絵画を飾り、リビングには協力して作った壁飾りを展示し、テーブルに花を置くなどの季節を感じられる空間を演出している。</p>		
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い通りに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>共用空間の中に個人の椅子を置いたり、利用者の相性などに配慮した空間作りを行うことで、個々の好みの場所を提供している。</p>		
54	20	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>本人の使い慣れた家具を使用したり、本人や家族の写真を飾り、居心地の良い空間にしている。</p>		
55		<p>一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>個々の基本動作を把握し、補助具の使用などで自立した生活を支援していく。</p>		

# 目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム プラチナ・ヴィラ青葉台

作成日 平成23年4月26日

## 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	2	事業所と地域とのつきあい	地域とより密着した関係を築く	町内会や運営推進会議を通じて、地域の行事等に参加し、地域の方々との絆を深めていく。	2年間
2	13	職員を育てる取り組み	職員全員の積極的な研修への参加	法人内の研修や外部の研修に参加したり、新人育成を通して職員全体のスキルアップを行う。	2年間
3					
4					
5					

注) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。  
 注) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。